

本日の演習では、高機能なテキストエディタである Mule の使い方を学習します。まずは、テキストの第 5 章をよく読んで、基本操作を頭に叩き込んで下さい。どうしても覚えておかなければならないコマンドは以下の通りです。

mule &	mule を起動する。
C-x C-f	ファイルを開く ( 作成する )
C-x C-d	ディレクトリを開く
C-x C-s	ファイルを保存する
C-x C-w	名前を付けてファイルを保存する
C-g	コマンドを中断する
C-x C-c	mule を終了する

これ以外にも多くのコマンドが用意されていて、文章を作成したり、プログラムを書いたりするのに非常に便利です。詳しくは、テキスト 78 頁以降を参照して下さい。なお、Windows 環境でも Mule やこれに似たソフトウェアを利用できます。プログラムを書く人や LaTeX を使う人には特にお勧めです。

[ 課題 ]

- 1) Mule を使って、日本語または英語で、自己紹介とこれまでの演習の感想を書く。  
ただし、文章のはじめに、氏名と学生番号を必ず書くこと。
- 2) 作成した文章をファイルに保存する。  
ただし、ファイル名には自分の名前を付けること。ファイル名の最後は ".txt" とする。(例: kano.txt)
- 3) 保存したファイルを添付書類として、加納へ電子メールで送付する。  
ただし、メールの本文にも、氏名と学生番号を必ず書くこと。題目 ( subject ) は「基礎情報処理演習」とする。メールアドレスは kano@cheme.kyoto-u.ac.jp です。

kano.txt の例

氏 名：加納 学 (かのう まなぶ) 学生番号：0123456789 自己紹介： 化学工学専攻の助手です。専門はプロセス制御・データ解析です。 詳しくは、 <a href="http://www-pse.cheme.kyoto-u.ac.jp/~kano/">http://www-pse.cheme.kyoto-u.ac.jp/~kano/</a> を見て下さい。 演習感想： 簡単すぎて話になりません。もっとハイレベルな演習をして下さい。
---

連絡事項

加納が学会参加のため、5月30日(金)は休講とします。